

## 平成 30 年度第 3 回理事会議事録

- I. 会議名 : (公社) 日本地すべり学会 平成 30 年度第 3 回理事会  
 II. 開催日時 : 平成 30 年 8 月 21 日 (火) 14 時 30 分～17 時 30 分  
 III. 開催場所 : 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 小会議室 204  
 IV. 出席者 : 理事出席 18 名, 監事出席 2 名, その他 2 名

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	櫻井 正明	○	理事	平松 晋也	○
理事	新井場公德	○	理事	笹原 克夫	○	理事	松浦 純生	×
理事	石丸 聡	○	理事	柴崎 宣之	○	理事	八木 浩司	○
理事	榎田 充哉	○	理事	高山 陶子	○	理事	若井 明彦	○
理事	小山内信智	○	理事	中里 裕臣	○	理事	渡部 直喜	○
理事	加藤 猛士	○	理事	中村 真也	○	理事	—	
理事	後藤 聡	○	理事	西井 洋史	○	(理事 18 名, 定足数 10 名)		

監事	相楽 渉	○	監事	白木 克繁	○	(監事 2 名)		
ICL 小委 員会	檜垣 大助	○				事務局	鈴木 英則	

- 定足数 10 名 (理事の過半数) を満たし, 理事会は成立した。  
 ○議事録署名人は, 八木会長, 相楽監事, 白木監事。

<議長あいさつ>

八木会長が開会のあいさつを行った。

### 議題 I . 審議事項

- 平成 30 年度 (公社) 日本地すべり学会 通常社員総会議事録の確認

中里専務理事が, 平成 30 年度 (公社) 日本地すべり学会通常社員総会の議事録に関し確認を求めた。出席理事に記載の誤りを訂正することで, 承認された。

- 平成 30 年度 (公社) 日本地すべり学会 第 2 回理事会議事録の確認

中里専務理事が、平成30年度（公社）日本地すべり学会平成30年度第2回理事会の議事録に関し確認を求めた。賛成18票、反対0票で承認された。

### 1. 委員会に関する規則・細則の見直し

柴崎総務部長より、資料に基づき説明が行われた。説明にあたって、表-2 E) 助成対象研究委員会は、現在地すべり学会には存在しないので、記載の誤りであることを報告した。理事からの意見は、以下の通りである。

- ・委員会での活動結果を、「どこで、どのように」報告するのかを記載して欲しい。
- ・研究調査部では、研究小委員会について公募する際に任期を記載している。
- ・委員会の区分（例えば、常設されているような委員会）によっては、規則や細則に委員会の任期を記載した方が良い場合もある。
- ・学会誌編集委員会のように継続的に設置されている委員会では、いつ委員の変更をおこなうかが難しい。同時期にすべての委員が交代してしまうと、委員会の運営が困難になる。
- ・1回で交代する委員の人数は、全体の1/2～1/3程度が限界ではないか。
- ・委員会に参加したい人が参加できるよう留意して欲しい。
- ・委員会の位置づけを明確にするため、設置された委員会の親組織を明確にする必要がある。
- ・選挙管理委員会の任期終了は、代議員や理事が決定するまでとするのが良い。

→頂いた意見を参考に執行部で規則・細則の見直しを行う。

### 2. 発展途上国からの入会申込への対応

鈴木事務局長より、資料に基づいて説明が行われた。出された意見は以下のとおりである。

- ・会費に応じて学会サービスのグレードを分ける方法が考えられる。
- ・Landslidesのオンライン購読を許可する権利は、ICLあるいはSpringerにあるのではない。ICLを通じてSpringerへ許諾が必要である。

→本案件は、執行部で再検討する。

### 3. 日本応用地質学会等との緩やかな連携

八木会長より、資料に基づいて説明が行われた。今後の方針は以下の通り。

- ・日本応用地質学会との連携については、地すべり学会にとってどのようなメリットがあるかを明確にする必要がある。
- ・日本応用地質学会に限らず、他の学会との情報交換、突発災害での合同調査団等による連携を進める方針とする。

#### 4. 北海道地すべり学会との協定

中里専務理事及び石丸理事より，協定書（案）が提示された。協定書の「1. 会計」の以下の文を修正することで，審議事項は賛成 18 反対 0 で承認された。

訂正前：領収書や請求書などの証拠証憑は，公益法人の監査があるため，支部が保管する。

訂正後：領収書や請求書などの証拠証憑は，支部が保管する。

#### 5. 入退会者状況

鈴木事務局より，資料に基づき入退会者状況の説明があった。

入会者については賛成 18 反対 0 で承認された。

#### 6. 研究発表会のポスター賞

渡部理事より，研究発表会若手優秀発表表彰はこれまで大会実行委員長名で出されていたが，新潟大会では，福岡大会実行委員長が急逝されたことにより，学会長名で出すことになった。表彰を頂く方のインセンティブを高めるためには，表彰は学会長名の方が良いと考える。今後，学会長名で表彰を行うことについて審議をお願いしたいという意見があった。

→現在の地すべり学会の規則では，表彰委員会の審査を経て学会長が表彰を行う。学会長が表彰を行う場合，表彰委員会と理事会での審議が必要となることから。表彰までに時間を要してしまう。

→継続審議事項とする。

## 議題Ⅱ. 報告事項

### 1. 新潟大会開催状況

渡部理事より，新潟大会の開催状況について報告がなされた。

### 2. 平成30年7月豪雨災害への対応

笹原理事（研究調査部長）より，調査団の結成と，調査場所，調査日時について報告がなされた。

### 3. 内閣府への立入り検査

中里専務理事より，内閣府の立入り検査の日程と対応予定者について報告がなされた。

#### 4. 若手対策事業の計画

柴崎理事（総務部長）より、若手対策事業の申請状況と計画について報告がなされた。

#### 5. 第5回斜面防災世界フォーラムへの参加依頼

檜垣 ICL 小委員長より、第5回斜面防災世界フォーラムに関する準備現況について報告がなされた。

#### 6. 研究小委員会の委員の公募

笹原理事（研究調査部長）より、以下2件の研究小委員会の公募を行った報告がなされた。

- ・雪氷圏の地すべり研究小委員会
- ・地震地すべり研究小委員会

#### 7. 研究助成及び研究小委員会に関わる内規

笹原理事（研究調査部長）より、研究調査部で以下2件の内規を定めたことの報告がなされた。

- ・（公社）日本地すべり学会研究助成（複数年度）の継続の審議に関する内規
- ・（公社）日本地すべり学会における研究小委員会の設置及び委員の公募に関する内規

#### 8. 防災学術連携体の活動

後藤理事（防災学術連携担当）より、活動予定について報告がなされた。

以上

議 長 八木 浩司 ⑩

議事録署名人 相楽 渉 ⑩

議事録署名人 白木 克繁 ⑩